

お子さんの予防接種
お忘れではありませんか？

学齢期の 定期接種

お子さま一人一人の
暮らしのタイミングに合わせて
計画的に接種することを
おすすめいたします。



小学生
中学生
高校生
保護者様向け

二種混合(DT)2期

【定期接種】

11歳～
13歳の誕生日前日まで

日本脳炎2期

【定期接種】

9歳以上～
13歳未満

【特例対象者】

1995年4月2日～
2007年4月1日生まれの人
※20歳未満の方が接種可能

子宮頸がん(HPV)

【定期接種】

小学校6年～
高校1年相当の女性

【キャッチアップ接種】

1997年4月2日～
2008年4月1日生まれの女性
※2025年3月末まで接種可能

(※) 2024年4月からは、平成19年度生まれ（誕生日が2007年4月2日～2008年4月1日）の女性もHPVのキャッチアップ接種の対象になります。

一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会
こどもとおとなのワクチンサイト

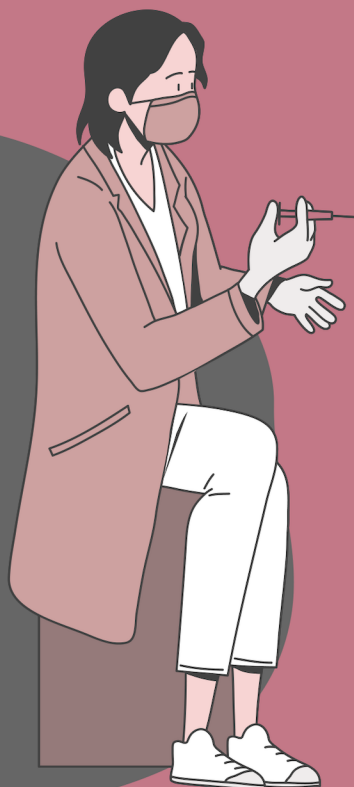
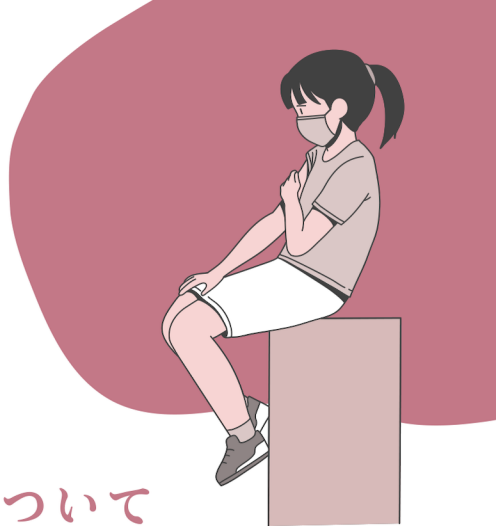


全年齢（0歳～成人）
ワクチン接種スケジュール



HPV

ワクチン接種 について よくある質問



子宮頸がんの原因となる
HPVの感染を防ぐことで
将来の子宮頸がんを
予防できると
期待されています。

厚生労働省

ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種に関する
相談支援・医療体制強化のための
地域ブロック拠点病院整備事業



お問い合わせ E-mail : hpv_gmd@ompu.ac.jp

1

Q. 接種対象者について

【定期接種対象者】

小学6年～高校1年相当の女性

【キャッチアップ対象者】※2025年3月末まで

1997年4月2日～2008年4月1日生まれ的女性

2

Q. どこで予約できるか

お住いの自治体からの通知書や自治体のホームページで医療機関一覧を確認し、ご連絡ください。

市区町村名 HPV 予防接種 医療機関

検索

3

Q. ワクチンの種類について

令和5年4月1日からシルガード®9(9価)ワクチンの定期接種化が開始されました。従来のサーバリックス®(2価)ワクチン・ガーダシル®(4価)ワクチンと比べ予防効果が高くなっています。

4

Q. 接種回数、かかる期間、費用

定期接種対象者とキャッチアップ対象者は、HPVワクチンを公費で受けられます。

ワクチンの種類や接種する年齢によって、合計2回または3回接種します。いずれも半年～1年の間に決められた回数、接種します。

※対象期間を過ぎると任意接種となり、接種費用は、自己負担（約4万～10万円相当）となります。

5

Q. HPVワクチンのリスクについて

詳しい情報をご覧になりたい方は
右の二次元コードを読み込みの上、
厚生労働省『詳細版HPVリーフレット』
をご覧ください。

